宮崎大学　農学部

森林緑地環境科学科

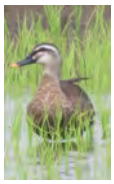
Department of Forest and Environmental Sciences

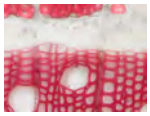
森林緑地環境科学科
Department of Forest and Environmental Sciences

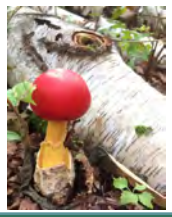
森林緑地環境科学科とは？

私たちが生活する場所やその周辺には、たくさんの「みどり」があります。私たちは、その「みどりの恩恵」によって安全で快適な生活を送ることができています。これまで私たちが受けてきた「みどりの恩恵」を次世代にも引き継いでいきたい。これが私たちの願いです。

宮崎大学農学部　森林緑地環境科学科では、森林・農山村・都市域を1つの連続した空間として捉え、森林や緑地の恩恵を明らかにすると共に、最適な管理手法の確立を目指しています。







みどり豊かな宮崎で学ぶ

宮崎県の平均気温・日照時間・快晴日数は全国トップクラスを誇り、まさに「日本のひなた」です。 そんな宮崎は古くから林業が盛んで、400年以上の歴史がある「飫肥（おび）杉」の生産で有名です。また綾町の日本最大級の照葉樹林は、平成24年にユネスコエコパークに登録されました。山だけでなく川や海も豊かで、大学近くの海辺ではサーフィンも盛んです。

世界に誇る豊かな自然や、日本で有数の林業に触れられるここ宮崎は、「みどりの恩恵」を学ぶ最高の環境です。「日本のひなた」宮崎で、一緒にみどりについて学びましょう！

PICK UP CLASSES

1年次：森林緑地フィールド実習Ⅰ、Ⅱ

学科の導入科目で、宮崎大学農学部田野フィールドをはじめとする県内各地に足を運び、森林生態系や緑化、防災や農山村の暮らしなどについて学びます。ここで得た知識はもちろん、実際に見て聞いて感じたことが、2年生以降の実習や講義に活かされます。

ほか　各種基礎教育科目、各種学部共通科目、森林緑地環境科学概論、環境計測学、木本植物組織学など

2年次：測量学、測量学実習

国土管理の基礎となる測量について講義で学ぶと共に、実際の器械を用いて実習します。測量学実習は班ごとに分かれ大学周辺を測量する、和気あいあいと楽しい実習です。測量の知識・技術は、卒業論文だけでなく、就職後にも活きてきます。

ほか　森林生態学、水文・気象学、構造力学、遺伝生態学、森林経済学、環境リモートセンシング概論、砂防学、木材工学、樹木生態生理学、森林利用学、森林計測学実習、樹木学実習など

3年次：造林学実験実習

苗の植栽や間伐などの森林・樹木管理技術を実際のフィールドで学びます。また、種子の品質鑑定や土壌分析、樹木の成長解析などの技術も室内実験を通して身に付け、授業の内容に関する理解を深めます。皆さんが実習で植栽する樹木が、実際に次世代の森林を担っていきますよ！

ほか　森林計画学、景観生態学、水資源管理学、森林保護学、水理学、森林政策学、土壌物理学、農山村環境計画学、植生立地学、流域防災保全学、環境材料学実験など

4年次：卒業論文

森林緑地環境科学科では3年生から研究室に入ります。研究室の指導教員の指導の下、文献調査や実験・実地調査、研究室ゼミなどを通して、卒業論文に取り組みます。教員の専門分野は非常に多岐にわたっています。皆さんの学びたいこと、きっと見つかるはずです。

NEW CLASSES!!

最新の「ドローン」や「AI」も学べます！

「森林緑地空間情報学」では、最新の森林や国土管理技術について、ドローンを使って実践的に学んでいきます。
「環境データサイエンスとAI」では、プログラミング言語Pythonを使いAIの仕組みと応用例について学びます。これからの時代に役立つ最新の知識・技能を実践的に学べます。

SDGsの達成に向けて

私たちの教育・研究は、持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）と密接に関わっています。陸の豊かさの根源となる森林機能や生態系、気候変動問題、水やエネルギーの持続性など、森林緑地環境科学を発展させていくことで、国内のみならず国際社会共通の課題であるSDGsの達成に向けて積極的に取り組んでいます。

最先端の研究

国内外で高い評価を受けている教員が多数在籍しています。
研究レベルでは他大学にも引けを取りません。自信があります！

造林学

伊藤 哲教授
生物多様性/人工林/
熱帯林/里山/景観

日本森林学会賞受賞

水資源管理学

竹下 伸一准教授
棚田/農業用水/
スマート農業/気象

農業農村工学会優秀報文賞受賞

森林保護学

平田 令子准教授
野生動物/昆虫/鳥/
森林生態系保全

日本森林学会奨励賞受賞

木本植物科学

雉子谷 佳男教授
植物ホルモン/木材/
材質/国産材利用

日本木材学会賞受賞

環境情報学

多炭 雅博教授
人工衛星/水資源/
環境計画/国際協力

日本雨水資源化システム学会学術賞受賞

森林経済学

藤掛 一郎教授
人工林経営/山村/
地域林業

林業経済学会賞受賞

森林利用学

櫻井 倫准教授
森林機械/道づくり/
収穫システム

森林植物細胞学

津山 濯助教
樹木細胞壁形成/
タケ/AI/森林資源

日本木材学会奨励賞受賞

森林計画学

光田 靖教授
多面的機能/ICT/
ミツバチ/綾町

森林計画学会研究奨励賞受賞

国土管理保全学

篠原 慶規准教授
蒸発散/ドローン/
緑を活用した防災

日本森林学会奨励賞受賞

森林機能生態学

徳本 雄史准教授**
熱帯雨林/生物季節/
生態系サービスと共生

砂防学

清水 収教授
土砂災害/災害調査/
水・土砂流出/流域

環境材料学

中園 健文准教授
農地/食料の安定供給/
水路の生き物/緑化

学科ホームページも見てね！
http://www.miyazaki-u.ac.jp/green/

森林立地学

高木 正博教授*
森林生態系/物質循環/
地球環境問題/水質

生態緑化工学

西脇 亜也教授*
野草/草原/ DNA分析/
生態学的農法/外来種

日本草地学会賞受賞

*フィールドセンター所属、**テニュアトラック推進室所属

多様な連携先

宮崎大学では、100以上の海外の大学と学術や学生交流に関する協定を結んでおり、交換留学も可能です。学科主体の協定先では、専門を生かした留学が可能です。
また、農学部及び森林緑地環境学科では、様々な行政機関等と連携協定を結んでおり、社会と連携した教育・研究を実施しています。

行政機関等の協定先

農林水産省 九州農政局
林野庁 九州森林管理局
宮崎県 林業技術センター
宮崎県 木材利用技術センター

海外の大学の協定先

[学科が主体となってるもの]

チェコ メンデル大学 林業・木材学部
台湾　国立台湾大学
森林環境・資源学科

[大学・学部が主体となってるもの]

アメリカ　カリフォルニア大学
アーバイン校・デービス校　ほか多数

進路情報

■ 充実した就職支援

多くの学生が専門をいかして就職します。大学院に進学し、より高度な専門職・研究職につく学生もいます。学科では毎年、独自の公務員説明会・民間企業説明会を実施しています。また、学科のカリキュラムは公務員試験の専門試験に対応しているので、公務員予備校に通わず、公務員試験に合格する学生も多いです。
森林や農業土木の分野は人材が足りていません！本学科で学んだ学生の活躍の場は広がっています。

■ 主な就職先、進学先

公務員(主に林業職、農業土木職、土木職)

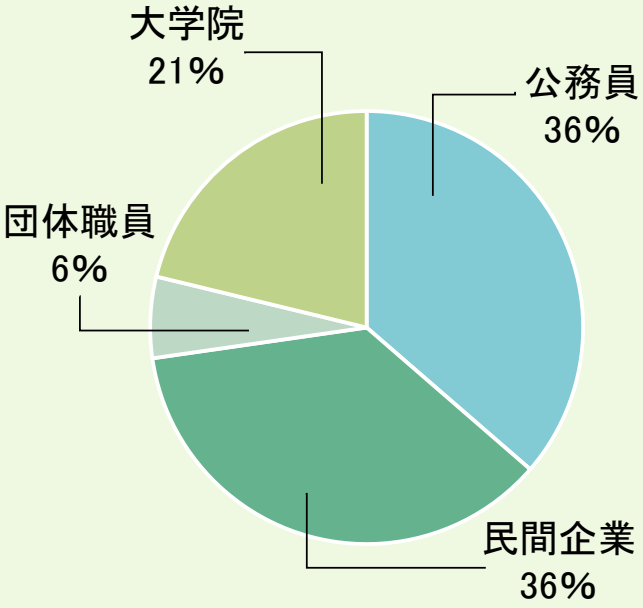
農林水産省、林野庁、宮崎県庁、福岡県庁、大分県庁、長崎県庁、熊本県庁、鹿児島県庁、山口県庁、広島県庁、岡山県庁、愛媛県庁、兵庫県庁、愛知県庁　ほか

民間企業

積水ハウス、住友林業フォレストサービス、国土防災技術、国土緑化、平田ナーセリー、外山木材、九州土木設計コンサルタント、日本工営、ダイヤコンサルタント、オオバ、若鈴コンサルタント、日本国土開発、NTCコンサルタンツ、宮崎銀行、宮崎太陽銀行、豊田通商　ほか
(大学院修了後:王子ホールディングス、日本製紙、アジア航測　ほか)

大学院進学

宮崎大学大学院、九州大学大学院、筑波大学大学院、兵庫県立大学大学院　ほか



※ 平成30年度～令和元年度実績

入試情報

多くの方に学科に興味を持ってもらいチャレンジしてほしい。
そんな思いから、多様な入試を用意しています。

総合型選抜入試の合否判定後に学校推薦型選抜入試の出願が可能です！

総合型選抜入試	学校推薦型選抜入試	一般選抜前期入試	一般選抜後期入試

総合型選抜入試・学校推薦型選抜入試に共通テストは課しません。
この他、帰国生徒選抜入試、社会人選抜入試があります。

※2022年6月現在の情報です。入試に関しては必ず最新の募集要項をご確認ください。

Q&A

よくある疑問・質問にお答えします！

Q.森林緑地環境科学科では何が学べますか？

A.「みどりの恩恵」について様々な角度から学べます。専門的な知識はもちろんのこと、情報を分析し論理的に考え表現する力、主体的に学び課題を発見・解決する力など、これからの社会の発展に必要とされる能力が身につきます。

Q.森林の知識は社会でどのように役立ちますか？

A. 森林は、地球環境問題、生物多様性保全、防災など、社会的問題と密接に関わっています。これらは今後の私たちの暮らしを左右する世界共通の重要課題であり、これらの問題解決に貢献できる人材が社会から求められています。

Q.資格・免許は取得できますか？

A. 高等学校教諭一種（理科、農業）、学芸員、測量士補、樹木医補、自然再生士補、森林情報士2級などの資格取得が可能です。

Q.留学できますか？

A.はい、できます。「トビタテ！留学JAPAN」の制度などを利用し留学している学生がいます。留学先で、単位取得が可能な大学もあります。また、留学生が多い研究室に入れば、様々な国の学生と交流できます。

Q.森や水、自然が大好きです！こんな私でも大丈夫ですか？

A. 大歓迎です！総合型選抜入試も実施していますので、是非受験してください。各教科の勉強だけでなく、課題を探求する意欲、様々な意見を聞きながら解決を図る態度を、今から少しずつ身につけてもらえたらと思います。

Q.高校では物理選択ですが大学の勉強についていけますか？

A. 大丈夫です。生物や物理など、高校で学んでいない科目についても、しっかりと基礎知識を身につけてから、専門科目を学ぶカリキュラムになっています。

Q.研究者を目指せますか？

A. もちろんです。博士課程まで指導可能な教員が多く、研究者になるための専門的な研究指導も行っています。研究者を目指す皆さんをお待ちしています！

Q.学科の雰囲気を教えてください。

A.アットホームな雰囲気です。途中でコースに分かれることがないので4年間同じメンバーです。1年生から実験・実習も多く、友達も作りやすい環境です。各学年2名の担任が、みなさんのキャンパスライフをサポートします。

宮崎大学　農学部
森林緑地環境科学科

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1
TEL: 0985-58-3834（教務・学生支援係）

みずきみどりのtwitter
https://twitter.com/mizuki_midori

学科ホームページはこちらから
http://www.miyazaki-u.ac.jp/green/